

## 基礎医学実習

- 科目到達目標: 1) 実験の手技を身につける。 2) 実験の組み立て方を身につける。 3) 各実習の意義を説明できる。  
4) 各実習で得られたデータを解釈し、説明できる。 5) 各実習で得られたデータをもとに発表し、討論できる。  
6) 実験動物への愛護精神を身につける。

科目責任者(所属教室): 松浦 達也(統合分子医化学)

回数	月日	時限	講義室	授業内容	担当者	講座・分野・診療科	到達目標	授業のキーワード
1	11/14(水)	1	121	説明会	基礎系 講座・分野 担当教員	統合生理学分野、 適応生理学分野、 統合分子医化学分野、 薬理学・薬物療法学分野	教科書に記載されている事実あるいは講義等で 教えられた知識は、多くの研究によって得られた ものである。基礎医学実習では、実験を自ら実施 することで、講義で学んだ知識について理解を深 め、問題点を解明する能力や論理的思考力を養 うことを目標とする。また、得られたデータをもと に、学会方式の発表を行うことにより、プレゼン テーション能力の向上を目指す。	
2・3	11/20(火)	3・4	機能系,感染症・生化学	実習内容: 日程・実習場所等の詳細は、 後日実習書に記載して配布する。  時限数: 34～45時限				
4・5	11/22(木)	3・4	機能系,感染症・生化学					
6・7	11/27(火)	3・4	機能系,感染症・生化学					
8・9	11/29(木)	3・4	機能系,感染症・生化学					
10・11	12/4(火)	3・4	機能系,感染症・生化学					
12・13	12/6(木)	3・4	機能系,感染症・生化学					
14・15	12/11(火)	3・4	機能系,感染症・生化学					
16・17	12/13(木)	3・4	機能系,感染症・生化学					
18・19	12/18(火)	3・4	機能系,感染症・生化学					
20・21	12/20(木)	3・4	機能系,感染症・生化学					
22・23	12/25(火)	3・4	機能系,感染症・生化学					
24・25	12/26(水)	3・4	機能系,感染症・生化学					
26・27	12/27(木)	3・4	機能系,感染症・生化学					
28・29	12/28(金)	3・4	機能系,感染症・生化学					
30・31	1/8(火)	3・4	機能系,感染症・生化学					
32・33	1/9(水)	3・4	機能系,感染症・生化学					
34・35	1/10(木)	3・4	機能系,感染症・生化学					
36・37	1/11(金)	3・4	機能系,感染症・生化学					
38・39	1/15(火)	3・4	機能系,感染症・生化学					
40・41	1/16(水)	3・4	機能系,感染症・生化学					
42・43	1/17(木)	3・4	機能系,感染症・生化学					
44・45	1/22(火)	3・4	機能系,感染症・生化学					
46・47	1/23(水)	3・4	121	発表会				
48・49	1/24(木)	3・4	121					
50・51	1/25(金)	3・4	121					

教育グランドデザインとの関連: 1, 3, 4, 5

学位授与の方針との関連: 1, 2

授業レベル: 3

評価: 実習科目であるので、全出席を原則とする。授業・実習態度(50%)、レポート(30%)、発表会での発表・質疑応答など(20%)により評価する。

その他: 実習書は説明会の時に配布する(全員出席のこと。遅刻をしないこと。これも出席に含める)。